

アトムクス株式会社

2023年3月期

# 中間年次報告書

自 2022年4月1日 至 2022年9月30日

## ■ 株主の皆様へ



### 目次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・  
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結  
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスにより、罹患された皆様の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げますとともに、感染拡大の抑制にご尽力されている医療従事者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、当社グループの2022年4月1日から2022年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2022年12月

代表取締役社長 神保 敏和

## ■ 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され景気は緩やかに回復傾向にあるものの、ウクライナ情勢に起因する原材料価格の高騰や調達リスクの深刻化及び急激な円安進行など依然として不透明で厳しい状況が続いています。

このような厳しい環境の中、当社グループは製品・サービスを通じて社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献するよう製品開発・営業活動を進めてきました。また、原材料等の高騰に対して一部製品の価格改定を行い利益確保に努めました。度重なる原材料価格の高騰により利益は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高53億6百万円（前年同期51億48百万円）、営業利益36百万円（同1億66百万円）、経常利益43百万円（同1億78百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円（同1億87百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

### 〈塗料販売事業〉

建築用・床用塗料は、一部製品において原材料の調達ができず欠品となり影響を受けましたが、ASシステム（ドローン）による営業活動により屋根材が伸長したこと、主要な顧客である製造業の工場床の改修工事が順調だったこと、価格改定前の先行購入が進んだことにより前年同期を上回りました。道路用塗料は、公共工事は底堅く推移しており特に通学路対策や弱者対策により路面標示用塗料と視覚障がい者用製品が伸長し前年同期を上回りました。アトムレイズ（水性アクリルゴム系塗膜防水材料）は、レイズ工業会の会員数は順調に増加し営業活動をおこなっていますが、案件受注にはいたらず前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて2億40百万円増加し50億56百万円（前年同期5.0%増）となりました。

### 〈施工事業〉

床材工事は製造工場の案件により昨年同様となりましたが、子会社アトムテクノスでの工事受注が少なかったため前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて82百万円減少し2億49百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

## ■ 通期の見通し

2023年3月期の通期業績につきましては、終わりが見えない原材料価格及び調達コストの高騰が続いており、厳しい状況が続くと予想されるため、売上高118億円（前連結会計年度110億61百万円）、営業利益2億40百万円（同4億21百万円）、経常利益2億60百万円（同4億47百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1億65百万円（同3億78百万円）を見込んでいます。

# ■ 事業の概要

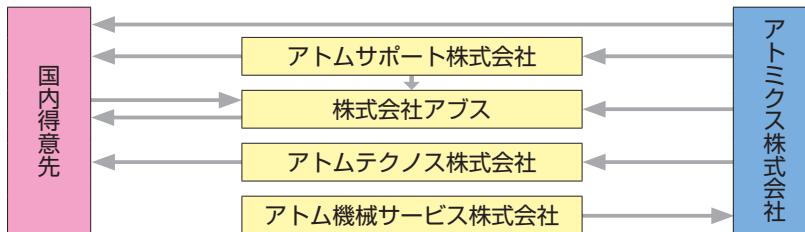
## 当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。  
塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

### 当社グループの構成



## 経営理念・価値基準

次の経営理念・価値基準のもと、研究開発・営業活動に取り組み企業価値の向上を図っていきます。

### 経営理念

1. 製品・サービスを通じて社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けて貢献する
2. 独創性に溢れた発想と高度な複合化技術によって市場を絞り込み、その市場でナンバーワン、オンリーワンになることを目指し価値を提供する
3. 会社の成長発展を通して、社員の幸福を追求すると同時に社員の自己実現を支援する

### 価値基準

安全 (Safety) ・ 安心 (Relief) ・ 快適 (Comfortable)

代表的な製品群は次のとおりです。

### (1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、熔融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

### (3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

### (5) 水性防水材



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

### (2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

### (4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

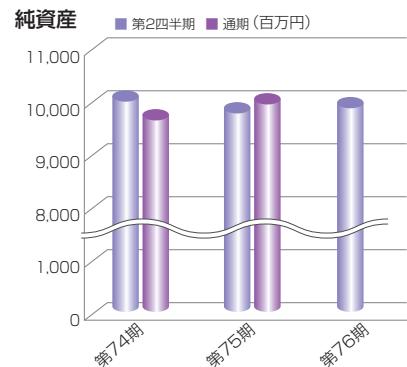
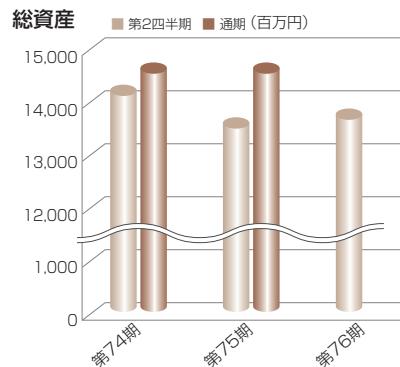
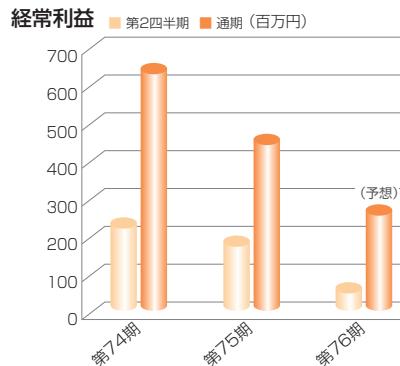
### (6) 視覚障がい者用標示材



特殊な樹脂や骨材の配合で、耐候性、耐摩耗性に優れるとともに、滑りにくい表面加工によって視覚障がい者の安全な誘導に貢献しています。

# 業績の推移

## 当社グループの業績の推移



区 分	第74期 2021年3月期		第75期 2022年3月期		第76期 2023年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	4,804	11,122	5,148	11,061	5,306	11,800
経常利益 (百万円)	212	633	178	447	43	260
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	139	379	187	378	16	165
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	22.30	60.94	35.31	71.38	3.06	31.08
総資産 (百万円)	14,125	14,547	13,521	14,543	13,668	—
純資産 (百万円)	10,009	9,669	9,798	9,971	9,894	—

# ■ 四半期連結決算報告（要約）

## 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前期末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	9,024,194	8,163,875
固定資産	5,519,358	5,504,538
有形固定資産	4,329,827	4,277,142
無形固定資産	469,741	525,765
投資その他の資産	719,790	701,630
<b>資産合計</b>	<b>14,543,553</b>	<b>13,668,413</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,949,802	3,173,744
固定負債	622,267	600,070
<b>負債合計</b>	<b>4,572,069</b>	<b>3,773,815</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	9,788,246	9,710,358
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	9,011,818	8,933,051
自己株式	△ 1,003,880	△ 1,003,002
その他の包括利益累計額	183,236	184,238
その他有価証券評価差額金	178,931	180,335
退職給付に係る調整累計額	4,305	3,903
<b>純資産合計</b>	<b>9,971,483</b>	<b>9,894,597</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,543,553</b>	<b>13,668,413</b>

## 四半期連結損益及び包括利益計算書（単位：千円）

科 目	前第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,148,879	5,306,560
売上原価	3,630,308	3,907,650
売上総利益	1,518,570	1,398,910
販売費及び一般管理費	1,352,239	1,362,776
<b>営業利益</b>	<b>166,330</b>	<b>36,134</b>
営業外収益	13,933	19,221
営業外費用	1,337	11,671
<b>経常利益</b>	<b>178,926</b>	<b>43,684</b>
特別利益	112,717	349
特別損失	418	1,313
税金等調整前四半期純利益	291,225	42,721
法人税、住民税及び事業税	78,191	16,492
法人税等調整額	25,902	9,977
四半期純利益	187,132	16,252
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>187,132</b>	<b>16,252</b>
その他の包括利益	△ 63,781	1,002
<b>四半期包括利益</b>	<b>123,350</b>	<b>17,254</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科 目	前第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,238	70,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,307	△ 234,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,246	△ 140,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	188,686	△ 304,540
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,839	3,188,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,012,525	2,883,482

# 会社概要・株式情報 (2022年9月30日現在)

## 1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社  
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号  
創業 昭和12年2月  
資本金 10億4,000万円  
従業員数 229名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

## 2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区  
支店 大阪府大東市  
営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・  
名古屋・広島・福岡  
工場 加須・久喜・岡山

## 3. 役員

代表取締役社長 神保敏和  
取締役 花形裕透  
富士田学  
宮里勝之  
鈴木太亮  
田中滋子 (社外・独立役員)  
常勤監査役 小川博巳  
監査役 上原左多男 (社外・独立役員)  
石川伸吾 (社外)  
執行役員 村岡正己  
川端裕之

## 4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株  
発行済株式の総数 7,242,000株  
株主数 1,108名  
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
アトミクス取引先持株会	914千株	16.36%
東京中小企業投資育成株式会社	700	12.52
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	321	5.74
西川正洋	280	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	280	5.00
ナラサキライン株式会社	134	2.40
東洋テック株式会社	126	2.25
アトミクス社員持株会	106	1.91
楠本化成株式会社	106	1.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.89

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する280,000株を除いた自己株式 (1,652,645株) を控除して算出しています。

## 5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同送付先  
上場証券取引所 東京証券取引所  
証券コード 4625  
公告の方法 電子公告  
URL <https://www.atomix.co.jp>  
(やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします)

**ATOMIX**

<https://www.atomix.co.jp>